

1. 教育の責任

私の授業では、人工知能（AI）の基礎概念とその社会や日常生活における重要性について深く掘り下げています。特に、文系の学生が人工知能をより理解しやすくなるように、具体的な使用例や実際に起きた事例の研究を取り入れています。これらの事例を通じて、人工知能の理論だけでなく、その実際の応用についても理解を深めることを目指しています。さらに、生成 AI（例：ChatGPT）の実際の使用方法やその社会的影響についても授業に取り入れ、学生が生成 AI を活用した課題解決や批判的な評価を行える力を養っています。このような取り組みを通じて、生成 AI の倫理的側面や限界についても議論する機会を提供し、学生が AI を有効かつ慎重に活用するための基盤を築いています。

2. 教育の理念

現代社会において、人工知能技術は急速に進化し、様々な分野に影響を与えています。このため、文系の学生であっても、人工知能の基礎知識を身につけることが重要です。私の授業では、学生たちに広い視野を持つことを促し、多様な知識と理解を深める機会を提供しています。また、生成 AI（例：ChatGPT）の台頭により、AI 技術はさらに身近なものとなり、これを適切に活用する能力が今後の社会で求められる重要なスキルとなっています。そのため、生成 AI を含む人工知能に関する教育を通じて、学生が新しい技術に柔軟に適応し、同時に倫理的な視点を持ちながらその可能性と課題を理解できるよう支援しています。

3. 教育の方法

授業では、視覚的にわかりやすい教材を活用しています。今年度は teachable machine など、web 上で人工知能を作成することができものを使い、人工知能の基本的なイメージを付けてもらいました。また、生成 AI の活用も取り入れ、自身が作成した AI をリアルタイムに改善する活動を取り入れるとともに、データの分析の演習を実施しています。このような実践を通じて、課題解決能力と批判的思考力を養うことを目指しています。

さらに、現実世界での人工知能の応用例として企業の取り組みを紹介することで、学生が理論だけでなく、社会へ 出た時に人工知能をどのように扱うかという実践的な知識も身につけることができるようにしています。

4. 教育の成果

学生からの評価やフィードバックを基に、授業の内容や方法を常に見直し、改善しています。授業を分かりやすくするための工夫を行っていますが、難しいという意見がまだまだ多い状況です。

5. 改善への努力と今後の目標

人工知能技術の進歩に合わせて、教育内容を更新し続けることで、学生たちが最新の知識を得られるようにと考えています。特に、生成 AI の教育活用については、教育効果とリスクの両方を慎重に検討しながら、進めています。今後は、生成 AI を授業内で効果的に活用するための教材開発や、学生の学びの深化を促す方法を模索して予定です。生成 AI を含む AI 技術の急速な進化に対応するため、教育内容を更新し続ける体制を整えていきます。

【添付資料】